

## 早期発症側弯症データベース運用開始のお知らせ

2024年10月1日に早期発症側弯症データベース登録（EOS-DB）の運用を開始いたします。このレジストリーはJOANRの2階部分にあたるJSSR-DBに連結して構築され、10歳未満で側弯症に対する手術を行われた患者さんを対象に、初回手術の際に主調査票を、その後は患者さんが満18歳になるまで毎年1回、初回手術の際に登録いただいた主調査票に紐づける形で、副調査票の登録を積み重ねる形での運用となります。

本レジストリーは①JOANR登録時に患者年齢が10歳未満（登録された手術日と生年月日より自動的に算出）、かつ②JSSR-DB入力画面の病名大項目で「脊柱変形・奇形」、中項目で「側弯症」あるいは「後側弯症」が選択された場合、自動的に登録対象となります。上記の条件を満たすと、EOS-DBの登録対象となりうる注意喚起のポップアップが表示されると同時に、スクロールした下方にEOS-DBが表示されます。10月1日以降に初回手術を施行された患者さんは全員登録対象となりますので、画面の表示に沿ってEOS-DB主調査票の登録をお願いいたします。その後は術後1年より、各患者さんに対して年に1回の副調査票の登録をお願いいたします。

現在、JOANRと共通のフォーマットでPDFの調査票を制作しております。完成しましたら会員の皆様に公開させていただきますので、しばらくお待ち頂けましたら幸いです。

EOSレジストリー構築は、JOANR、JSSR-DBとともにEOS治療における画像情報や臨床成績、再手術や合併症に関する情報を集積することで、医療の質の向上、良質な医療の提供、適正な医療レベルの維持、また医療経済の最適化を行うためにも不可欠な事業となりますので、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本側弯症学会  
理事長 伊東 学  
EOS データベースワーキンググループ  
担当理事 赤澤 努  
委員長 井上 玄

《本件に関する問い合わせ》  
[maf-jss-db-contact@mynavi.jp](mailto:maf-jss-db-contact@mynavi.jp)